

### 姉妹都市

# 10月にキャンベラ市との提携25周年記念事業 市民間交流の必要性説く サポート体制の充実求める

## 3月予算決算委員会

奈良市は世界の6都市＝一覽参照＝と姉妹都市提携を結んでおり、このうちキャンベラ市との提携25周年を記念し、本年度10月に記念事業を行うことが決まりました。ACT(オーストラリア首都特別地域)のコンサートバンドが奈良市内の学校と交流し、奈良市内で記念コンサートを開く予定になっています。

市からは「これまで市議会や行政の相互訪問をはじめ、一条高校との交流留学生や教員の相互派遣、市内小中学生との交流やバスケット、サッカー選手団によるスポーツ交流などが行われてきた。今後

の市民間交流は最も重要なことと認識しており、奈良市民の皆さんに友好姉妹都市の周知の取り組みを進めていきたい」との説明がありました。

10月に開催される25周年記念事業は、キャンベラ市と交流実績のある団体や学校の意見を聞きながら検討している段階で、日本大使館公邸でのレセプションや記念式典への出席、日本語を教えている現地の学校訪問、毎年開催されているキャンドルフェスティバルでの燈花会の実施や奈良市PRブースの設置が予定されています。

## 県外からの観光客4割

### 天平祭

# 経済効果の調査を提案 市「前向きに検討したい」

## 平成29年 観光文教委員会

予算決算委員会では、両市のこれまでの交流内容や、今後の交流方法を質問し、「行政間だけの交流ではなく、今後市民間の交流から新たなビジネスや災害時の協力など、グローバルな展開が生まれてくることを期待される」と意見を述べ、それらをサポートできる体制の充実を求めました。

多くの観光客で賑わう平城宮跡で開かれる天平祭は、県外からの訪問客が4割という奈良市のアンケート結果があります。これら県外の観光客の方々の宿泊や物販の購入など、経済効果に期待がかかります。観光文教委員会では、これら経済効果の算出、調査を市に提案しました。

経済的な効果が期待される一方で、現在の市では、アンケート調査のみにとどまっており、具体的な指数は検証されていません。この

ら経済波及効果を市として算出し、今後の課題、より効果的なイベントの運営などを行うべきと提案しました。

市からは「今後、具体的な実施時期、方法などについて調査・研究を進めていきたい」と、前向きに検討する答弁がありました。

## 近鉄西大寺駅南の土地区画整備事業

# 南北つなぐ 高架道整備

### 2020年度末完成 歩行者の安全確保へ

近鉄西大寺駅南の土地区画整備事業は現在までに面積ベースで92%の進捗状況になりました。今後は駅の南北を高架道つなぐ自由通路の整備や、暫定整備されている駅南側駅前広場を整備することが決まっております。



近鉄西大寺駅整備事業の完成イメージ図

完成する予定です。一方、北側の駅前広場の整備については進捗が遅れており、議会の場で早期整備を求めています。

自由通路は幅7.5m、延長75.5m。南北にそれぞれエレベーターやエスカレーターを設置し、駅舎と接続する計画です。押しての移動になりますが、自転車もエレベーターは利用可能となります。

高架完成後は改札口も高架側に移る計画になっています。これまで南北の通行は車両の交通量が多く歩行者の安全確保が課題となっていました。これらの解消に期待されています。

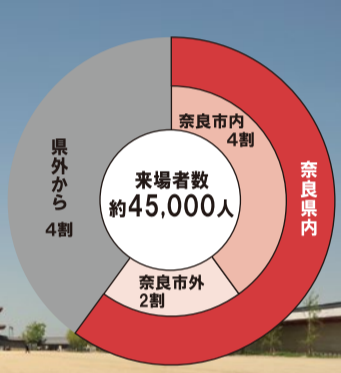
またこの工事に伴い、暫定整備されていた駅南側駅前広場の一部は資材置き場などとして使用されます。完成は自由通路と同じ2020年度末となり、完成後はバス、タクシーの乗り入れ、一般車両の乗降スペース、トイレなどの利用が検討されています。

## 奈良市と姉妹都市提携を結んでいる世界の6都市

慶州市(大韓民国)
1970年(昭和45年)4月15日に提携
西安市(中華人民共和国)
1974年(昭和49年)2月1日に提携
トレド市(スペイン)
1972年(昭和47年)9月11日に提携
ベルサイユ市(フランス)
1986年(昭和61年)11月14日に提携
キャンベラ市(オーストラリア)
1993年(平成5年)10月26日に提携

来場者への市のアンケート(天平祭・春、4万5000人の来場)では、来場者の地域は「グラフ参照」となり、県外の来場者が4割となっています。また宿泊を伴う来場者は全体の2割にとどまっております。会場内の消費額は3000円以下が6割との結果が出ています。

天平祭・春での来場者へのアンケート結果



## facebookでさまざまな地域活動やイベント参加情報を発信しています。



登美ヶ丘北ひつじプロジェクトの歓迎式典で



奈良オマーン友好協会